

基本評価シート
様式

青森県 環境エネルギー一部 自然保護課

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名※1	令和6年度青森県指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務		
	令和6年度指定管理鳥獣生息状況調査委託事業		
	令和6年度青森県大型獣捕獲講習会開催業務		
	令和6年度青森県効果的捕獲測事業委託業務		
都道府県名	青森県	担当者部・係名	環境エネルギー部 自然保護課
担当者名	白戸	担当者連絡先	017-734-9257
捕獲実施事業者	一般社団法人青森県猟友会 (認定鳥獣捕獲等事業者)	予算額※2	30,594,053円
		予算額の内捕獲に要する経費※3	10,179,000円

※1 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

※2 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

※3 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
40頭	8頭	20.0%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
—	生息密度の低減	—
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
143頭	59頭	—

○これまでの個体群管理の取組（都道府県単独事業）

本県では、1910（明治43）年代にニホンジカが地域絶滅したとされてきたが、1992（平成2）年に八戸市で死亡個体が回収されて以降、各地で目撃及び死亡個体が収容される事案が発生し、2015（平成27）年には初めて農業被害が確認された。

県内の生息域は拡大傾向にあると考えられ、ニホンジカの定着と基幹産業である農林業への被害拡大や豊かな自然環境などへの影響が懸念されている。

このため、県では平成27年度からニホンジカ初動対策事業を実施するとともに、平成29年度に第二種特定鳥獣管理計画（第1次）、令和3年度には第二種特定鳥獣管理計画（第2次）を策定し、科学的かつ計画的な管理に取り組んでいる。

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>青森県では、平成27年度にニホンジカによる農業被害が初めて確認されて以降、県内の生息域は拡大していると考えられ、今後、自然環境への影響や農林業被害の拡大が懸念されている。</p> <p>このため、本県では、平成29年9月に第二種特定鳥獣管理計画（第1次）、令和3年度に第二種特定鳥獣管理計画（第2次）を策定し、ニホンジカに対して科学的かつ計画的な管理を実施していくととしており、県内でもニホンジカの生息密度が高いと考えられる三八・上北地域において、生息密度の低減に向けた捕獲圧の強化を図る。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置付けも記載する。</p>
	<p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年10月21日～令和7年3月21日
実施区域	三八地域及び上北地域 ※実施区域の特徴も記入 ※事業計画の地図がある場合は、図面を添付
関係機関との協力	事業実施場所については市町村と調整済み
事業の捕獲目標	$(20.0\% \text{達成}) = (8 \text{実績値}) / (40 \text{目標値})$
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は〇ページ参照 ※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：スプレーで個体番号を記載）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>

項目	概要
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：くくりわなの輪の直径 12cm 以内かつワイヤー直径 4 mm以上、締付け防止金具及びより戻しを設置。クマの活動が低下する 11 月以降に設置。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	鳥獣捕獲等事業の実施に係る安全管理規程に基づき実施
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数： 166 人 (内訳)</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：166 人</p>

3. 令和 6 年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点 [※]	
【目標達成】	<p>【評価】</p> <p>令和 6 年度事業計画の目標である 40 頭に対して捕獲実績は合計 8 頭であり、前年度から 20 頭の捕獲数減となっている。</p>
	<p>【改善点】</p> <p>令和 6 年度は豪雪の影響により、わなが雪に埋まった事例、夜間の気温低下により、くくりわなのワイヤー部分が凍結してわなが作動不能となった事例が多発したことから、豪雪時等でも効果的な捕獲を行えるよう、わなの設置場所や設置方法を検討する。</p> <p>また、巻き狩り猟で目視できたが捕獲に至らなかった事例も多かった。</p> <p>併せて、目撃情報やモニタリング調査、越冬好適地予測調査結果等から、生息密度が高いと考えられる場所を分析して出猟するほか、くくりわなの設置地点・基数を増加させるなど、効率的かつ効果的な捕獲方法により捕獲圧の強化を図る。</p>
【実施期間】	<p>【評価】</p> <p>有害捕獲との調整を図り、本事業については 10 月末～翌年 3 月に捕獲を実施した。冬季（積雪期）での実施により、本来であれば足跡等の痕跡からの追跡が容易になることから、実施時期としては妥当だったと考える。</p>
	<p>【改善点】</p> <p>—</p>

【実施区域】	【評 価】 生息密度が県内で比較的高いと考えられる三八地域に加え、三八地域に隣接する上北地域も実施区域とした。
	【改善点】 委託業者と、直近の目撃情報に基づく捕獲実施地域の選定や実施日等に関する情報共有・指示を密に行う。
【捕獲手法】	【評 価】 銃猟（巻狩り・忍び猟）とわな猟（箱わな、くくりわな）による捕獲を行い、8頭捕獲した。このうち、銃猟による捕獲は7頭、くくりわなによる捕獲が1頭であった。 捕獲効率率は、銃猟で0.011頭/人日（R5：0.039頭/人日）、わな猟で0.004頭/基日（R5：0.017頭/基日）となり、銃猟、わな猟ともに捕獲効率は低下した。
	【改善点】 ○銃猟 個々人の技術力の向上に努める。 ○わな猟 天候による影響は避けられないものの、豪雪時でも効果的に捕獲を進められるよう、専門家の意見を基に関係機関とも連携して実施する。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	【評 価】 公募によって決定した認定鳥獣捕獲等事業者である一般社団法人青森県猟友会は、地域に精通した捕獲従事者が多く所属しており、事業の実施に適切な体制のもと実施された。
	【改善点】 委託業者と、直近の目撃情報に基づく捕獲実施地域の選定や実施日等に関する情報共有・指示を密に行う。
【個体処分】	【評 価】 個体処分については埋設・焼却の他、一部、食肉（自家消費）として利用した。
	【改善点】 —
【環境配慮】	【評 価】 錯誤捕獲はなかった。
	【改善点】 —
【安全管理】	【評 価】 安全管理規程を遵守し、事故なく安全に実施された。
	【改善点】 —
3. その他の事項に関する評価及び改善点 —	
4. 全体評価 捕獲目標頭数40頭に対して捕獲実績が8頭（達成率20.0%）となり、実施区域において一定の捕獲圧をかけることができたものの、目標の達成には至らなかった。 豪雪時でも捕獲を効果的に進められるよう、専門家の意見を基に関係機関とも連携し、取り組む必要があるほか、個々人の捕獲技術の向上に取り組む必要がある。 また、令和6年度の三八・上北地域における糞塊密度調査の結果、3.78/km（調査時期：10月）であり、増加傾向にあることから、今後も、モニタリング調査や目撃情報の収集を継続し、科学的な見地から、より適切な捕獲場所や手法を検討し、委託業者との連携も密にしたうえで、捕獲圧を強化していく必要がある。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

管理計画では、三八地域の生息密度を平成 28 年度の水準（平均糞塊密度 1.07 糞塊/km）以下に抑えることを目標としており、平均糞塊密度が増加傾向である状況においては、積極的な捕獲が求められる。

事業実施区域は、県内でも平均糞塊密度の高い地域であり、本事業による捕獲圧が生息密度の増加の抑制に一定の寄与があると考えられるが、管理計画の目標を達成するためには、更なる捕獲圧の強化が必要であると考えられ、具体的な生息密度への寄与等については、次年度以降を行うモニタリング調査等を踏まえて評価したい。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	

項目	整備状況	備考
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 (妊娠の有無、角の形状)	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数＝わな基数×稼働日数)	

※延べ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUEの地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹ : 626 人日

事前調査人日数概数※² : - 人日

出猟（捕獲作業）人日数 : 626 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	626 人日	590 人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2：事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲（箱わな）

外業の人日数総数※¹ : 248 人日

事前調査人日数概数※² : - 人日

出猟（捕獲作業）人日数 : 248 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	248 基日	114 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2：事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲（くくりわな）

外業の人日数総数^{※1} : 228 人日

事前調査人日数概数^{※2} : - 人日

出猟（捕獲作業）人日数 : 228 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	228 基日	291 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1：事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2：事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	8 頭	28 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②目撃数	71 頭	58 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.63	0.54	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.00	0.11	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	- 頭	- 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	3 頭	495 人日	0.006 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.109 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	0 頭	61 人日	0.000 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.000 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	- 頭	- 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	- 頭	- 人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (事前調査)	4 頭	70 人日	0.057 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.243 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	1頭	5頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.00	0.20	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	1.00	0.00	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	1頭	226基日	0.0044頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	0頭	248基日	0.000頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	—	—	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	—	—	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 不明 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： — 個体

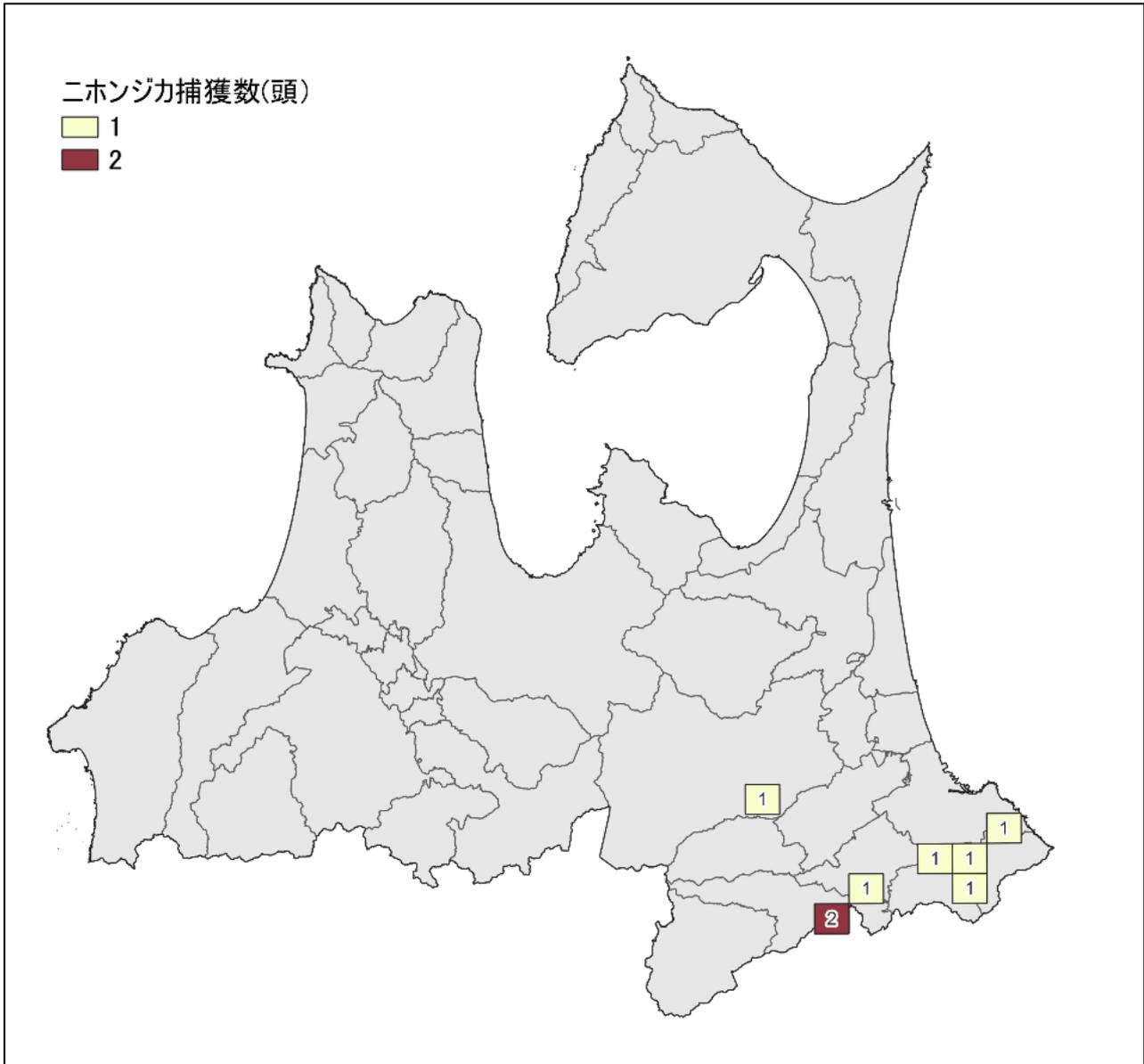
【適正な捕獲が実施されたかを確認する手法】

捕獲結果の報告様式により、処置の概要を確認。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

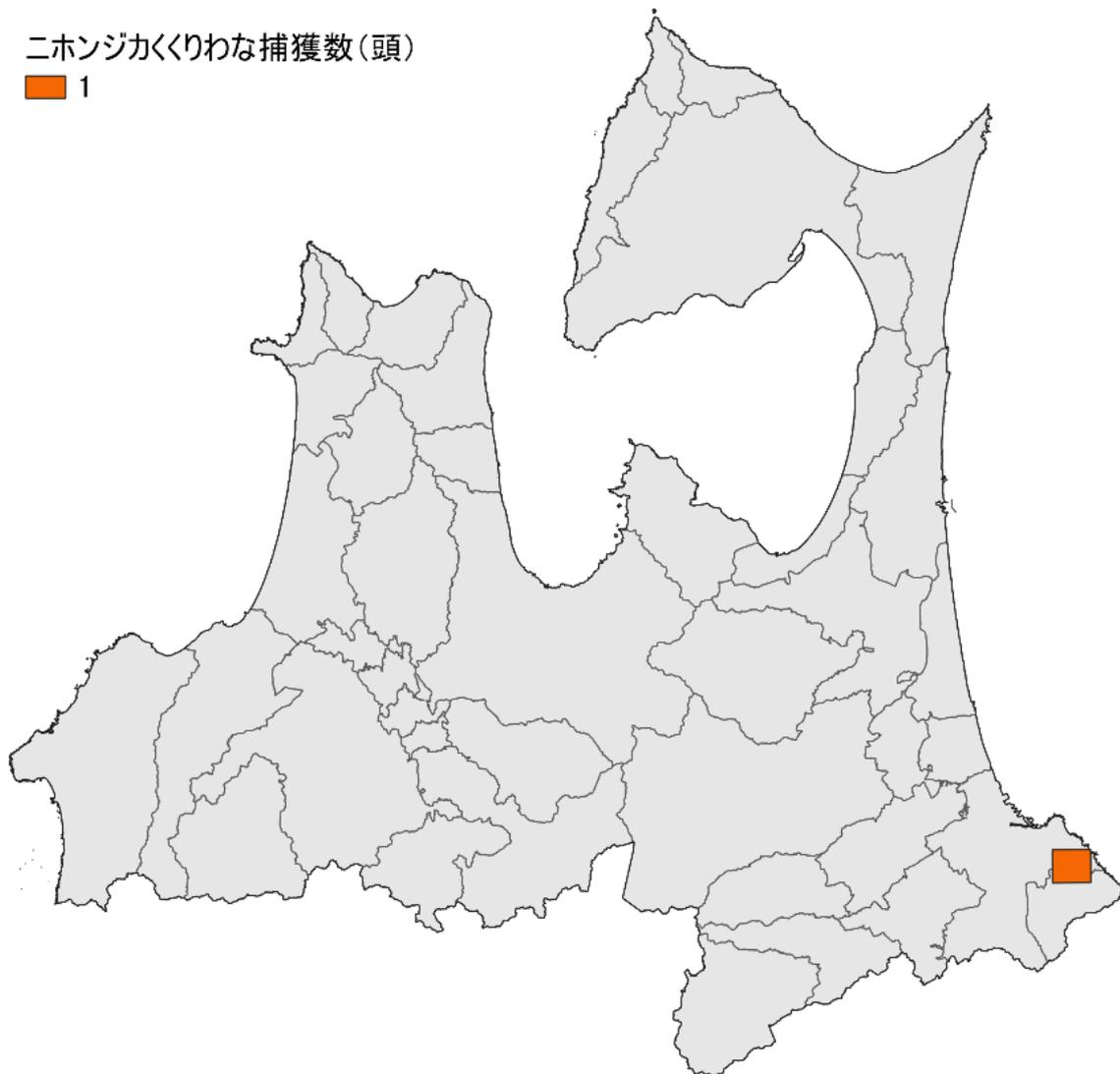
誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

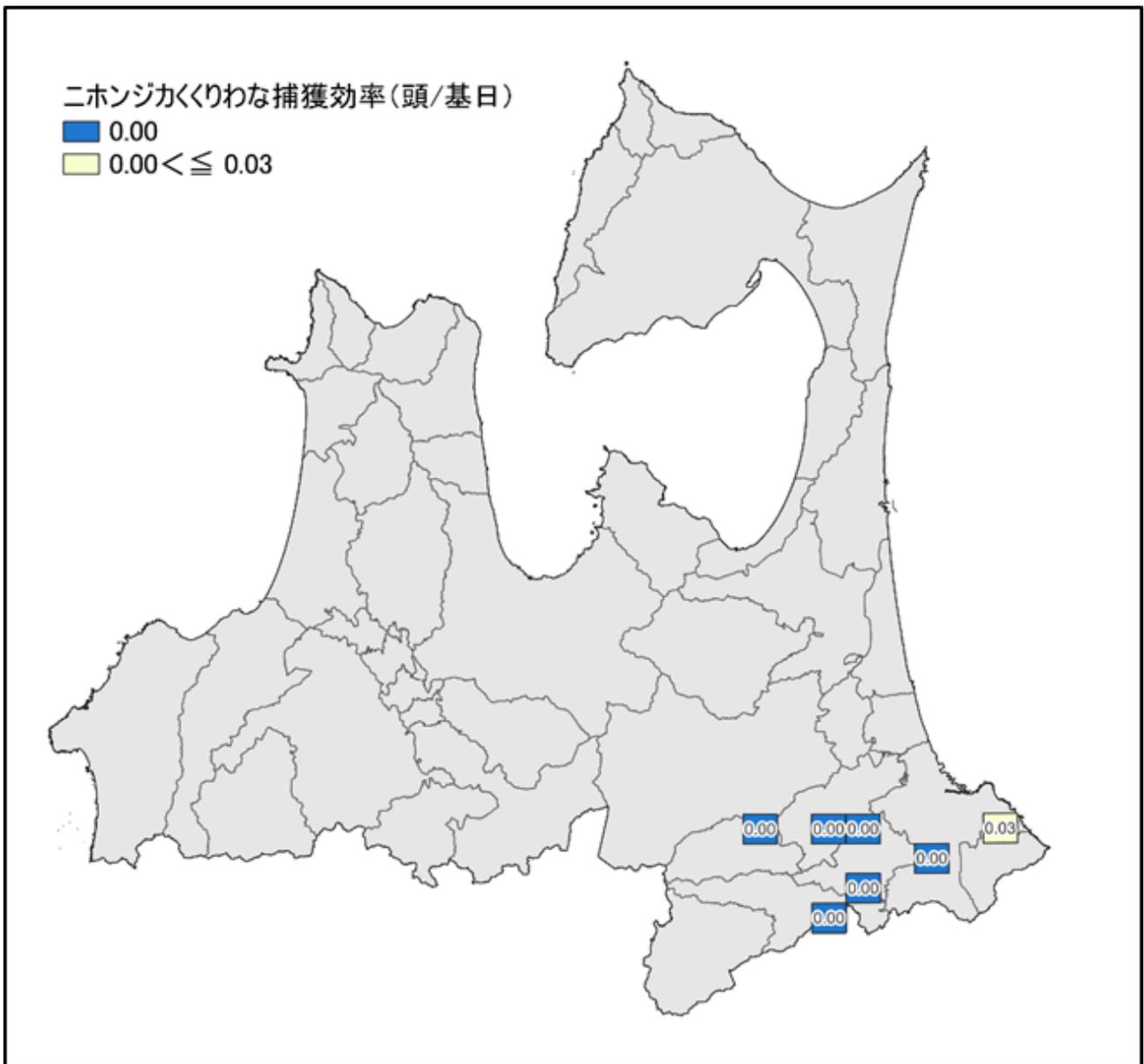
<令和6年度ニホンジカ捕獲頭数マップ（指定管理）>



ニホンジカくりわな捕獲数(頭)

■ 1





※CPUE : 捕獲努力量あたりの捕獲頭数

